

# 平成24年度第3回常総市公共交通活性化協議会 会議要旨

## ■開催

平成25年2月19日（水） 午前10：30～11：10 常総市生涯学習センター 創作室2

## ■出席

委員：飯塚委員，吉田委員，尾上委員，落合委員，沼尻委員，◎鈴木委員（筑波大学），泰間委員（茨城運輸支局），牧瀬委員（茨城運輸支局），武藤委員（関鉄），松村委員（三妻タクシ一），根本委員（関鉄労組），中川委員（市商工会），滝本委員（市社会福祉協議会），山本委員（市保健福祉部長），門井委員（市保健福祉部次長兼社会福祉課長），古谷委員（市介護長寿課長）

※◎：委員長

事務局：市企画課 増田課長，小林課長補佐，飯村係長，金子主事（記録者）

## ■内容

報告第1号 予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について

報告第2号 常総市に係る公共交通の動向について

議案第1号 高齢者外出支援事業の廃止に伴う70歳以上の利用者の利用料金変更の運用方法について

その他 予約型乗合交通ふれあい号の車両変更の報告について

## ■協議内容 （◆：議長，●：委員，▲：事務局）

開会 午前10：30

### 【前回のおさらい】

▲：前回の会議内容を説明。

#### <議案>

- ・予約型乗合交通ふれあい号の事業者運行体制の見直しについて
- ・高齢者外出支援事業の廃止に伴う70歳以上の利用者の利用料金の変更について

#### <報告>

- ・平成24年度及び平成25年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金について
- ・平成25年度当初予算要求について
- ・予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について

#### <その他>

- ・予約型乗合交通ふれあい号の車両の変更について

#### 【報告第1号】

- ▲：「予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について」説明。
- ◆：登録者は累積の数字でしょうか、亡くなった方なども入っているのですか。
- ▲：時期は決まっていないが、システムを管理するNTTと相談して、転出などを含めてデータから削除する作業を行いたいと考えている。

#### 【報告第2号】

- ▲：「常総市に係る公共交通の動向について」説明。
- ：常総線への補助の総額と常総市の補助額を教えてください。
- ▲：今は正確な数値に関する資料はないが、沿線3市（筑西市・下妻市・常総市）で補助をしており、人口や路線の長さなどによって負担割合を決めており、常総市内には7駅もあるため、3市の中では最も多い額となっている。
- ：補助金を出しているなら、守谷駅止まりを無くすような要望は出来ないでしょうか。とても不便に感じています。
- ▲：安全対策に対する補助なので、運行本数などについては関東鉄道の営業努力になってしまいます。
- ◆：1日当たりの駅ごとの乗客数はどれくらいでしょうか。
- ▲：平成23年度の数字で、水海道駅2638人、北水海道駅376人、中妻駅270人、三妻駅272人、南石下駅193人、石下駅819人、玉村駅88人、合計で4600人となっています。水海道駅までは黒字だが、水海道駅以北は赤字路線となっています。利用者数は減っており、つくばエクスプレスの影響により守谷から取手の収支も厳しい状況と聞いています。
- ：タクシーは供給過剰、バスも利用者が減少している中で、公共交通が供給過剰であるという前提で話をしてしまうと、乗合タクシーやこれから始まるであろう循環バスの需要について、隠れた需要があると書いておかないと矛盾してくるのではないかと思います。事務局で補足した方が良いのではないのでしょうか。
- ▲：今回の資料はあくまで現状報告です。デマンド交通を開始するに当たっては、民間交通を駆逐しないようにすることを前提にしています。タクシー事業者にとっては、250円という金額は本当に負担になっていると考えています。それでも、行政がおこなう公共交通は民間の公共交通を補完する役割であるということを改めて考えていかないといけないと考えています。
- ：たぶん、需要と供給がミスマッチしている部分はあるはずだと思う。隠れた需要、今のサービスでカバーできない部分があるので、今後料金体系や新しい交通サービスを考えるうえで、基本的なデータは集めておく必要があります。

#### 【議案第1号】

- ▲：「高齢者外出支援事業の廃止に伴う70歳以上の利用者の利用料金変更の運用方法について」説明。

- ：この事業は国の事業なのですか。
- ▲：市の事業で、125円の半額分を介護長寿課からの負担金で補てんする形になります。
- ：デマンド立ち上げの最初から協議会に携わっていますが、500円と提案して議会からの提案もあり250円となり、今度は125円となりました。利用者にとっては、とても紛らわしいのではないのでしょうか。半券残ったものをどうするとか、利用方法をよく周知しないと乗るほうは不安になってしまいます。やはり、料金を下げ過ぎるのはよくないと思います。  
国の総資産の60%は高齢者が持っていると言われていて、お金をいっぱい持っている高齢者もいるわけだから、ワンコインでも大変安いと思います。周知も難しいし、色々やりすぎると利用者も減ってしまうのではないのでしょうか。
- ：周知のための広報は1回だけでしょうか。直接登録者に郵送で通知してはどうでしょうか。
- ▲：この事業の開始時にも個別に郵送での通知はしていません。郵送料の負担を考えると、難しいと考えています。お知らせ版への掲載を含めて、2回の広報、ふれあい号車内への掲示を早めに行いたいと思います。半券を使えなくしてしまうことは出来ないで、現金を受け取る形になります。
- ◆：資料のグラフの前年に比べて大きく登録者数が違う理由は何かあるのですか。
- ▲：新規の登録は口コミが大きいので、登録者数の伸びも平準化していましたが、割引のPR効果もあったのではないかと考えています。
- ：承認。

#### 【その他】

- ▲：「ふれあい号の車両変更の報告について」、説明。

閉会 午前11:10